



**かんこ踊り** 「かんこ」とは、「羯鼓」の変化した語で、民族芸能のひとつ。三重県中南勢～伊勢志摩地域などで行われている民族舞踊です。大勢の青年が胸に太鼓をつけて、囃子（はやし）や歌に合わせて打ちながら踊ります。氏神の祭や盆踊りに行われます。写真提供：三重県観光連盟

目次・主な内容

■ 定時会員総会	2	■ 暑中見舞い	12
■ 特別講演会	3	■ 三重労働局	16
■ トップインタビュー	6	■ Window事務局	19
■ 経協事業活動報告	8	■ れんらく・つうしん	19
■ リレー随想	11	■ 業務日誌	19

# 平成21年度定時会員総会開催

5月21日(木)津商工会議所5階会議室において、会員55名の出席のもと、平成21年度定時会員総会を開催いたしました。

開会に続き、奥田会長から挨拶があり、引き続き議長として議案の審議が行なわれました。第1号議案から順次審議が進められ、第6号議案まで満場一致で承認されました。その後、事務局より報告・連絡事項が行なわれ閉会いたしました。

会員総会終了後、特別講演が行われました。

## ■議 事

- 第1号議案 平成20年度事業報告(案)
- 第2号議案 平成20年度収支決算書(案)承認及び会計監査報告に関する件
- 第3号議案 平成21年度事業計画(案)審議に関する件
- 第4号議案 平成21年度収支決算書(案)審議に関する件
- 第5号議案 役員人事及び理事推薦の件(案)
  - 1. 副会長交代の件
    - (新)㈱東芝セミコンダクター社  
四日市工場工場長 成毛 康雄氏  
(旧：戸澤 周純氏)
    - (新)シンフォニアテクノロジー(株)  
電子精機本部 伊勢製作所長代理兼  
総務部長 澤田 隆氏  
(旧：久保 幸夫氏)
  - 2. 理事推薦の件  
東海労務経営管理センター所長 松田 貴氏
- 第6号議案 会則変更の件(案)

## ■報告・連絡事項

- 1. 第17期労務管理改善協力委員会報告
- 2. 厚生労働省委託インターンシップ受入企業開拓事業報告
- 3. 第40・41回三重労使会議報告  
(労使による雇用の安定・創出に向けた取組みの共同宣言)
- 4. みえ雇用創出会議報告
- 5. 三重県地域労使就職支援機構修了報告
- 6. その他の委託事業報告



総会で挨拶する奥田会長

## ■会長挨拶要旨

会長の奥田でございます。

最近、日経平均株価は六ヵ月前の水準に戻り、いくつかの経済指標には改善の兆しもみえ、在庫調整の進展で生産に底打ち感が出ており、消費者心理にも持ち直しの光が見られます。また、現在のキーワードである「環境・エネルギー」「安心・安全・健康」などの消費者ニーズを的確に捉えた企業は収益を伸ばしており、他社と横並びではない独自の商品、独自の戦略を持ち、経営の原則は自己責任であると覚悟して、自力で危機に立ち向かった企業が業績を伸ばしているという点を、経営者として注目しなければならないと思っております。

県下の雇用情勢も一段と厳しさを増しており、昨年3月は1.28倍。全国4位の雇用情勢が、今年3月には、有効求人倍率も0.44倍(全国32位)と、県内で経験したことのない一番悪い数字となり、急激な悪化が続いております。労使はもとより、行政も一体となった緊急の取組みが求められています。

連合三重とは、この問題について2月の労使会議以降、対応策を検討しており、近々、共同宣言を行って必要な行動を取る予定でありまして、改めて皆様のご理解ご協力をお願い致したいと思っております。

このように、大変困難な環境下ですが、皆様方のビジネスにあっては、逆風を変革のチャンスと捉えて乗り越え、将来に向かってさらなる飛躍を遂げられる機会となるように、経営者協会では会員の皆様を幅広く支援致します。

どうかこれからも引き続き会員皆様の心強いご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。総会のご挨拶とさせていただきます。



# 学生を信頼し大切にできる大学経営の実例

## ① 運営から経営へ

三重大学が平成16年に法人化され運営から経営への意識改革を5年間一生懸命行ってきた。国立大学法人化とは競争原理の導入、評価に基づく資源配分をする事です。競争的で厳しい反面、大学執行体制を強化する為、役員会もでき、副学長、理事も充実された。経営協議会や監事の組織ができ、民間の方にも入って頂いている。予算・人事制度は従来文部科学省に予算を請求していたが、運営費交付金の学内配分が弾力化された。又、非公務員型となり、多様な雇用が可能になった。ただし、運営費交付金が毎年一定割合削減される。病院もかなり削減となった。公務員の時は労働基準法など考えもしなかったが、労働基準法の適用となり残業手当の問題や労使交渉を行わなければならなくなった。従来学長の仕事は入学式と卒業式で挨拶するだけであった。大学の構成員には運営と経営の違いの意識改革。経営とは組織を永続させるために環境の変化に対して自らを変えていくことである。自らを変えるとはPDCAサイクルを回すことであるが今でも国立大学の先生でPDCAが通じない人がいる。PDCAを全部署・全階層で回すことが経営であり、運営から経営が三重大学のミッションである。地域に根ざし世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す～人と自然の調和・共生の中で～業務の継続的改善（PDCA）が経営である。顧客の視点、コストの視点、職員の成長の視点、危機管理・ルール順守の視点を常に心掛ける。又、7つの心掛けとして「失敗を恐れるな」



講演する豊田副学長

「必死のコミュニケーション」「文字通りの実行」「蝸壺を壊そう」「全員に常に事実が見えるように」「5回のなぜ」「命令から問い合わせへ」を全員に徹底させる。大学運営の取り組みとしておびたしい数の制度改革を行った。

## ② ミッションを文字通り徹底することの大切さ

三重大学のミッションとして三重から世界へ 地域に根ざし世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す 人と自然の調和・共生の中で環境に配慮する。まず地域に根ざしというミッションの徹底を目指す。地域の中小企業でもグローバル化された中で世界相手にビジネスしており、大学が世界に通用する人材を育て、研究シーズを提供しないことには、役に立たない。地域大学は地域を目指すべきであるが、同時に世界を目指さないことには、地域から見放されてしまう。「地域」を目指すことは、「世界」を目指すことである。地域とともに発展する三重大学協働体へ。ミッションの周知・徹底と文字通りの実現にはかなりのエネルギーが必要である。ミッションは短い言葉の方が覚えられやすい。三重大学のミッションは少し長い。その意味では北海道大学の「青年よ大志を抱け！」が最高である。まず、ミッションを周知することが第一であるが、周知だけではダメで、文字通り実現されたかどうかが大切である。まず地域に根ざす為、三重大学と市町等との相互友好協力協定を結ぶ事ができた。色々な企業・自治体と包括連携協定を締結した。三重大学の共同研究数は法人化以降急激に増えた。三重大学の中小企業との共同研究数は全国トップ3に入る。地域に根ざすと言う事が数字の上でも実現したと言える。キャンパス・インキュベータ入居ベンチャーは8社が入居している状況である。みえメディカルバレー構想は三重県と一緒に医療、健康福祉分野の産業の活性化に取り組んで、徐々にネットワークの成果が出て来た。2006年日経全国バイオクラスターランキングで4位となった。大学病院と地域の病院がみえ治験医療ネットワークにより薬、健康食品が非常に評価された。桑名のヤマモリさんがギャバ醤油を開発してみえ治験ネットワークで高血圧を下げるという事を臨床試験で証明した。鈴鹿医療科学大学と三重大学が包括連携協定を締結し医療方面で色々な事

をしようとしている。三重大学とみえメディカルバレープロジェクト等での連携、特に「統合医療」分野での連携が期待される。アメリカでは統合医療が進んでいる。野村證券・百五銀行が創業革新プロジェクト研究室を設置し、現在ベンチャーの有望なところのてこ入れを行っている。4月に産学連携の三重大学伊賀研究拠点を設立し、三重大学の先生、大学院生、地域の企業の研究者の方と一緒にすでに研究を開始している。三重大学の場合はより地域に密着したのがいいかと思ひ産学連携のコンビニ戦略を始めた。4月より立ち上げた「地域イノベーション学研究所」大学院ですが地域にイノベーションを起こすという意味で創設した。地域の企業が採用したいと思う大学院生を育てる事が重要である。高度な研究開発能力、プロジェクト・マネジメント能力も同時に育成し、世界と競って研究する。教授のやりたい研究も、地域のニーズに必ずしも合わないのので、企業に解決して欲しいテーマを大学の先生と地域の学生が合同で行うと言うコンセプトである。

### ③ 学生の潜在力を引き出そう

法人化に伴い「考える力」「コミュニケーション力」「感じる力」「生きる力」の4つの力の教育目標を掲げた。教育目標を飾り物にしない為に教育目標を書いたポスターを掲示し周知徹底を図る。各教員にも4つの力の目標を念頭において授業をさせる。感じる力（感性）、考える力（クリティカル思考）については、教育心理学の教員が構造化した質問表を開発し、評価する。三重大学が独自で開発した。従来の授業だけでは4つの力が身につくとは思えない。授業の内容を変える為、PBL型授業の全学展開を推進。4つの力が同時に身につく学生主体の教育方法。医学部におけるPBLチュートリアル教育の実績から全学展開へ。インターンシップやゼミなども学生が主体的に課題解決やプロジェクト達成に取り組む。課題探求型・プロジェクト達成型教育を小集団で行うとコミュニケーション力が付き、学生が主体的に問題を発見し、解決してPBL教育となる。PBLの考え方は、問題の発見（感じる力）問題の分析説明・解釈（考える力）問題の解決応用・実践（生きる力）であり小集団で教育改革を行った。プロジェクトの典型的な例はNHK大学ロボコンで、学生が自主的に行い、2年連続ベスト4となる。インターンシップ参加者も年々増加している。日刊工業新聞主催のキャンパスベンチャーグランプリ中部奨励賞を受賞。最近学生時代にベンチャーを立ち上げる人も



スライドで説明する豊田副学長

多い。文部科学省による国公私大間の競争的な教育改革支援事業を地方大学の中では医学部が比較的多く行い評価を受けている。その中でも環境教育が非常に評価されている。三重大学が取り組む教育で、一見おとなしそうに見える学生も環境を与えてあげれば積極的に発揮する。環境ISO14001を三重大学が認証取得する。環境ISOの活動は学生主体の活動として行った。古紙回収ボックスは地域の企業と一緒に、大学生協でエコバックを実行、デザインは学生が行った。レジ袋有料化で、最初はみんな猛反対であった。三重大学にコンビニを入れる事になり、コンビニにレジ袋有料化をお願いしたら、断られたが、レジ袋有料化を条件で、全国で始めてコンビニでレジ袋有料化となる。又、放置自転車のリユースを行い、新入生に無償で貸し出す。古紙回収ボックスで回収した古紙をトイレットペーパーとして学長室に積んで、お客さんに帰りに渡した。ゴミの分別や海岸の清掃を自治会と一緒に。環境報告書は環境大臣から環境コミュニケーション大賞を2回授与された。これは全国の大学で唯一三重大学だけである。三重大学は環境先進大学と言うブランド力が出来た。

### ④ トップ自らが発信することの大切さ

学長は広報活動をしなければならないが、宣伝費も税金であるので、新聞広告は極力止めてお金の掛からない方法を取った。その中で一番参考にしたのが、東国原知事である。知事一人で宮崎県に何百億の経済効果をもたらした。まねはできないが、トップ自らの情報発信と言うのは広報活動の中でも極めて重要な活動である。とても東国原知事や大阪の橋下知事の足元には及ばないが、私なりに努力して会合があれば出向いて三重大学の宣伝を行った。さまざまな手段をミックスしてできる範囲で情報発信を



行う。記者会見も定期会見が望ましいが、三重大学は適宜の記者会見を行った。又、テレビの出演も全国放送はなかなか難しいが、地域のテレビ局は結構出演した。新聞や雑誌への投稿や各種講演会での講演や商工会議所に顔を出すなど今迄は考えられなかったが、挨拶し、大学の広報誌や名刺を1枚でも多く配る。マスコミとの信頼関係の構築はなかなか難しい。法人化前は、事務職員がマスコミの記者を神経質なまでに警戒していた。不祥事が起こった時は記事に載ることは仕方がないと腹をくくった。むしろ不祥事が起こればこちらから記者に連絡する。不祥事も載せて頂くがそれ以上に良いことをたくさん載せて頂く。法人化当初は不祥事続きで、住民の方から投書を頂き、お叱りを受けた。その後、記者の方々と信頼関係が構築され、三重大学の記事をよく目にするとされるようになり広報効果が出ている。又、広報チームを作りイベント開催等の主催部局から広報チームへ情報が集まるようになり、プレスリリースが増加した。広報誌も質の高いものを作り「三重大えっくす」は地域住民向けに年4回作成し配布している。もう一つはブログを学長が書く。それまでは学長メッセージとして学内の人に硬い内容のメッセージを伝えていたが、国による地方大学切り捨ての動きに対して、トップが率先して情報発信する事だ。大学の構成員に対して、トップの考え方が伝達できる。ブログを書いていると学長の顔が見え身近な存在になる。学長が毎日何をやっているのか殆どの人は知らないが、どういう考え方で行動しているかが見える。大きな組織であり、ブログを通して伝達できる。そしてブログに取り上げられることが構成員の励みになる。地域に対しても三重大学の方針が伝わり、評価に繋がる。皆さんに読んで頂ける魅力あるブログが必要。行政関係者や文部科学省、マスコミも読んでいる。ブログに書いてから記事の取材に来る場合もありブログによる広報効果がある。

#### ⑤ 私がめざす大学経営と学長のリーダーシップ

法人化になり、理事は学長が任命出来る。しかし各学部長は法律上は任命出来るが、実質は、教授会の選挙で選ばれる。そこで人事の断絶がある。予算権も法人化までは殆どなかったが、私立は違う。私学では理事長制をとっている大学が多く、理事長が人事権、予算権を握っていることが多い。某私立大学の学長の嘆きで、私学の学長は人事権、予算権が与えられていない。学長の言う事を教員は聞いてくれない。理事長の権限を兼ね備えている国立大学法



特別講演会風景

人の学長が羨ましいと嘆いた。しかし、国立大学の学長は法的には人事権や予算権が認められているが、実質上の権限は小さく、教員を動かすことは困難である。私学でも国立大学でも、人事権や予算権に頼らず人を動かせる人材、リーダーシップが必要。私が参考にしたのは、「EQリーダーシップ」であると思った。集団に対して共感・共鳴を巻き起こして人を動かす力である。「EQリーダーシップ」に近い内容のテレビ番組があり、星野さんという軽井沢のリゾート運営会社の社長で、父親より継いだ時にアメリカ型の経営術で改革したらホテルがたがたになり、考え方を改め、社員にいてもらうためにはどうすればいいのかを考えた。経営者が主役ではなく、社員が主役という事で、最もわかっているのは現場の社員だ。社員は上司に何を言ってもかまわない。社員を怒ることは全くない。意思決定のプロセスも変えた。上司を選ぶのも上からではなく現場に上司を選ばせた。それでホテルを立て直し、今は傾きかけたホテルの再建屋として全国を走り回っている。これはまさに「EQリーダーシップ」である。私が目指そうとしたのは、学生・職員・教員が共感・共鳴する職場づくりで、学長と学生・職員・教員それぞれの信頼関係が、ある程度進んだと感じる。ISO14001の取り組みなどは、学生と職員・教員が心をつなげて取り組んだ典型的な事例である。学生（お客様）に大学の運営に参加してもらう。これは従来の考え方では出来ない。大学の改善・改革の為に、3つの集団（学生・職員・教員）が心をつなげた行動が出来る取り組みが今後増えることを期待する。構成員の夢を実現するには、トップの「EQリーダーシップ」が必要である。その為にはトップ自らが情報発信し、現場に向いて構成員とコミュニケーションをとることが基礎となる。住民と大学が共感・共鳴する地域づくりをしたいと思い5年間頑張ってきた。（文責 事務局）



会員企業各社、トップの素顔に迫る「トップインタビュー」。  
第16回目は経協理事会社であります、オムロン松阪株式会社  
代表取締役社長 見置 昌弘みおき まさひろさんにお話を伺うことができました。

## グローバル生産拠点の マザー工場

オムロン松阪株式会社 代表取締役社長 見置 昌弘さん

～1973年に創業され、血圧計を始め、多彩な健康機器を生産し、世界のご家庭にお届けしている御社ですが、生産だけでなくお客様サービスセンターを開設されるなど、その幅広い事業運営についてお聞かせください。～

まず私どもオムロン松阪の位置付けですが、オムロングループにおいて健康機器・医療機器の製造販売を行う事業体として2003年にオムロンから分社・独立したオムロンヘルスケアの生産機能を担当する子会社になります。オムロンヘルスケアは「地球上の一人ひとりの健康ですこやかな生活への貢献」をミッションとしており、当社ものづくりや顧客サービスを通じてより良い社会の実現に向けて努力しております。

当社の事業内容としては、おおきく3つの事業分野に分けられます。1つ目は、ものづくり事業。オムロンヘルスケアグループのグローバル生産拠点のマザー工場として、生産戦略、生産品質、生産技術、生産管理の機能を担っています。中国やベトナムなどの生産拠点を含めた世界戦略におけるオムロンヘルスケアグループの全生産部門の管理・統括を行っています。当社が生産している血圧計は、今や世界の血圧計市場の6割を占めるまで成長してきています。今年（2009年）の9月には、血圧計が累計販売台数1億台に達する予定です。1973年の発売から36年の年月が掛かっていますが、おもしろいことに内訳を見ると、5,000万台を販売するのに30年。その後の6年で残りの5,000万台を販売したことになります。国内外を問わず、近年の健康への関心の高さを感じさせられます。次の2億台達成は、そう遠くない未来に訪れることになると予測していますので、今から期待を膨らませています。2つ目は、顧客サービス事業。当社のコールセンターに寄せられるお客様からのご質問やご相談への対応をはじめ、修理の受付や附属品の販売など、お客様の声を聞くところからご要望に応えるところまでをワンストップサービスで提供しています。3つ目は、キーデバイス事業。商品のコアとなる部分（キーデバイス）、例えば、血圧計でいえば圧力センサー。こういったキーデバイスを当社で開発、生産しています。生産されたキーデバイスは、国内はもとより、世界の生産拠点に供給されます。当社の自動血圧計や電子体温計などの健康機器・医療機器の各製品に搭載されたキーデバイスが、高精度、高品質を実現し、世界で高い信用を得ています。

～「より良い環境」の実現に向けて、様々な活動を行っていますが、環境保全への取り組みについてお聞かせください。～

当社は、1998年に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を受け、以来、環境と人との調和を目指し、規制化学物質排除欧州RoHS規制適合など持続可能な循環型社会への貢献を目指しています。廃棄物の削減、CO2排出抑制に取組み、オムロン松阪は地球の健康も考えています。

取組の1例として、排出物のリサイクル率100%を目指したゼロ・エミッションプロジェクトを、2006年2月に達成し、その後現在まで継続しています。また、オムロングループでは、エコ活動とボランティア活動を組み合わせたエコ・ボラ



お客様サービスセンター



ン活動を展開しており、当社もその一環として、敷地周辺清掃作業や地元の児童公園清掃作業、海岸清掃作業など地域との交流にも積極的に取り組んでいます。

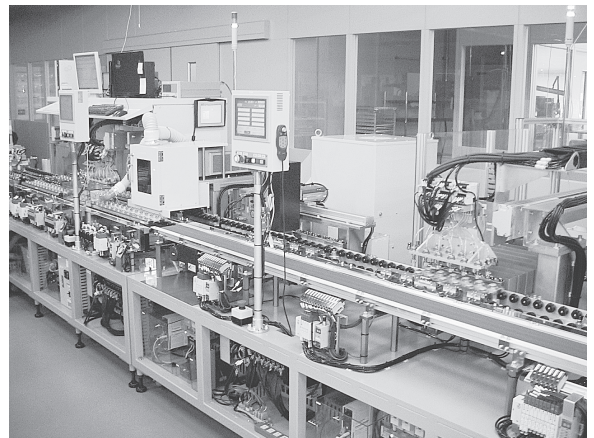
～社員教育にも積極的に取り組み、社員のキャリア形成を会社が支援する体制も整えられていますが、社員がいきいき働ける環境づくりについて、お聞かせください。～

職場の環境づくりとして、ワーク・ライフ・バランスの推進。グローバルに活躍する人材育成として、能力開発面接、ビジネスリーダー研修・次世代工場長研修、海外生産拠点間の人材交流、英語学習、自己啓発支援など複合的に行っております。また、人権委員会やセクハラ相談員の設置など、人権啓発推進体制の構築にも注力しています。

昨年、全国労働基準関係団体連合会が、厚生労働省から委託された「仕事と生活の調和推進モデル事業」に、地域を代表するモデル企業として選定されました。社員がいきいき働ける取り組みについて「超過勤務時間の削減」など、人財の育成に社員とともに推進しています。

～御社の未来についてお聞かせください。～

“健康管理は家庭から”を提唱し、家庭での血圧、体重や体脂肪、血糖値などの測定が定着しつつある現在。次のステップとして、家庭で計測した生体情報や行動情報を医療機関での診断・治療や生活習慣病の予防・改善に役立てる「ホームメディカルケア」を推進しています。簡易で使いやすく、しかも精度の高い測定機器や、医療機関などの情報伝達に携帯電話を使うなど、一人ひとりにあった健康づくりに貢献できる質の高い製品・サービスを提供できると考えています。



キーデバイス生産ライン

～趣味、休日の過ごし方など見置社長のプライベートについてお聞かせください。～

基本的に運動が好きで、昼休みなど時間を見つけては、工場の敷地内外をウォーキングしています。また月1回ぐらいかな、ゴルフで汗をかきます。

私は歴史にも興味がありまして、最近自転車を購入して伊勢街道を走っています。今のこの季節、緑のさわやかな風を受けながら、古人の歴史の足跡を辿る旅は、休日の楽しみです。



工場内風景

◆見置社長略歴

昭和31年1月4日生

学歴

- 昭和49年3月 三重県立松阪工業高等学校 機械科 卒業

職歴

- 昭和49年3月 松阪立石電機株式会社 (現オムロン松阪株) 入社
- 平成10年3月 生産推進センタ工務グループ長

- 平成11年3月 中国大連市 オムロン(大連)有限公司 副総経理
- 平成17年9月 中国揚州市 クレル社 董事
- 平成19年3月 オムロン松阪株式会社 生産企画室長
- 平成19年6月 同社 取締役
- 平成20年6月 同社 代表取締役社長 オムロンヘルスケア(株) 執行役員兼務

## 労働保険実務講座開催

4月20日(月)プラザ洞津「明日香の間」において、労働保険(労災保険・雇用保険)実務講座を開催いたしました。

当日は23名の参加があり、(株)日本マネージメント・リサーチ講師、御園 富士夫氏から下記のプログラムで実務講座が行なわれました。

1. 保険事務の概要と給付のあらまし
2. 採用と退職時の保険手続き事務
3. 労災・雇用保険における給付の上手な受け方・受けさせ方
4. その他知ってトクするポイント
5. 質疑応答

実際の届出用紙を使った演習も行なわれ、“とても参考になった”と参加者から好評を博しました。



講演する御園講師

## 労務管理改善協力委員会4月第1部会活動報告

4月24日(金)井村屋製菓(株)本社において、労務管理改善協力委員会第1部会を開催いたしました。

向井部会長の挨拶に続いて、井村屋製菓(株)総務・庶務課長宮路 元美氏より会社の概要について説明を伺った後、本社工場に移動し、「あずきバー」の製造工程を見学させていただきました。工場見学終了後、三重大学准教授キャリア支援センター長 石阪 督規氏より「ワークライフバランスの充実と実現」をテーマに講演を伺いました。

### ◆講演プログラム

- ①男女共同参画とは?
- ②男女共同参画の成立
- ③男女共同参画の矛盾
- ④男女共同参画の個別政策を考える

⑤ワークライフバランスと生きる力について、引き続き、活発な質疑応答が行われ、各社とも取り組みが遅れているテーマだけに、今後の推進に大いに参考になる部会になりました。

当日は、22名の参加がありました。



WLBについて講演する石阪講師

## 平成20年度ビデオライブラリー監事会並びに第46回運営委員会開催

5月29日(金)当事務局において、平成20年度ビデオライブラリー監事会が開催され、平成20年度の収支内容について承認をいただきました。その後、会場を津リージョンプラザ第4会議室において、第46回運営委員会を開催いたしました。

当日は5名の委員が出席し、横田専務理事より下期の運営・執行状況、平成20年度の収支決算、平成21年度事業計画、新規購入の選定について説明がおこなわれ、協議の結果原案通り承認可決いたしました。次に事務局よりビデオを活用した雇用維持の助成金制度の利用が急増している報告があり、今後の利用拡大について話し合いが行われ閉会いたしました。



MVL運営委員会風景



## 労使共同宣言・三重労使雇用支援機構設立

当協会と連合三重は、「労使は相互理解に立って、経営の安定と雇用の維持・確保に一致協力して取組む」ことを確認し、平成21年5月25日「雇用の安定と創出に向けた労使共同宣言」を行いました。共同宣言を受け、その実行母体として「三重労使雇用支援機構」を同日設立いたしました。

三重労使雇用支援機構は、労使両団体から役員、担当者、コーディネーターを配置し、関連団体、行政、学校等の協力を得て、地域の雇用情勢の改善、新規学卒者・若年者の就職支援、企業人材のスキルアップ・職業訓練の促進などの諸事業を展開します。

### 三重労使雇用支援機構事業計画

1. 新規学卒者の就職支援
  - ①若手人材ステップアップ事業
  - ②インターンシップの促進
  - ③三重労働局及び三重県の実施する各種就職支援事業との連携
2. 企業人材スキルアップ・職業訓練の促進
  - ①企業人材スキルアップ推進事業（県委託事業）
  - ②三重労働局及び三重県の実施するスキルアップ・職業訓練事業との連携
3. 雇用の創出及び再就職支援
  - ①「ふるさと雇用再生特別交付金」の活用支援
4. その他  
適宜、設立の趣旨に沿った必要な活動を行う。

◆下記の事務所で活動いたしますので、よろしくお願いたします。

津事務所：前田 宏男

〒514-0033 津市丸之内9番18号丸の内ビル3階

TEL&FAX：059-223-7771

伊勢事務所：大西 正孝・若林 行雄

〒516-0073 伊勢市吹上1-11-31

伊勢志摩労福協会館302号室

TEL&FAX：0596-29-5766



労使共同宣言（土森連合三重会長、奥田経協会長）

中日新聞  
（平成21年5月26日）朝刊

雇用安定へ共同宣言 連合三重と  
経協  
雇用情勢の悪化を受 森弘和会長）は二十五  
日、県経営者協会（会 長・奥田卓広三重交通  
用の安定、創出に取り  
と連合三重（土 組んでいく共同宣言に

合意した。  
宣言では、「実効性の  
ある景気回復策と合わ  
せ、雇用の安定、創出  
策を速やかに講ずるこ  
とが喫緊の課題」と指  
摘。県などには企業の  
雇用維持に対する支援  
や職業訓練の拡充、医  
療や介護、農業分野の  
雇用創出策などを行う  
よう求めている。  
（平井一敏）

## 教育訓練の講師を募集しています。

「教育訓練をしたいが、自社内だけで講師が確保できず困っている。」というご相談が多々ございます。

- ・各種講座で講師を務められている専任講師の方
  - ・各企業で長年各部門の責任者などを経験された方
- で、派遣講師を希望される人、または推薦できる人を、下記までご連絡ください。

### ●お問い合わせ：津事務所〔前田〕

講義テーマの例：技能向上、技能講習、品質・QC・サークル活動のスキルアップ、語学、ISO,OA関係、財務分析、モチベーション向上、人事・労務管理、5Sの基礎、経理知識、TWI（JI・JM・JR・JS）、安全、KYT・・・など

## インターンシップ事前研修会

6月6日(土)津センターパレスホール5階において、おしごと広場みえ共催のインターンシップ事前研修会を開催いたしました。

例年より大幅な学生の参加を数え、下記のプログラムで事前研修会が行われました。当日は120数名の学生、関係者の参加があり、若い熱気に包まれた大変有意義な研修会になりました。

### ■プログラム

I. 開会挨拶 (当協会横田専務理事)

II. 企業側講演

テーマ：「インターンシップを通じて学生に望むこと」

①三重交通(株)人事部長 花満 亨氏

②ネットヨタ三重(株)総務グループ主任 三木 正氏

III. 学生体験談

テーマ：「インターンシップで得たもの」

①高田短期大学学生

②鈴鹿国際大学学生

③三重大学学生

IV. 「インターンシップとビジネスマナー」

講師：吉井優貴氏

(有)トーカイマネジメントアソシエイツ(TMA)

①インターンシップの心構え

目的及びアルバイトとインターンシップとの違い

②ビジネスマナー

③インターンシップ目標設定

V. 閉会挨拶 (おしごと広場 岡田センター長)



マナー研修を受ける学生

## 社会保険実務講座開催

6月23日(火)プラザ洞津「菖蒲の間」において、社会保険(健康保険・厚生年金保険)実務講座を開催いたしました。

当日は16名の参加があり、講師の御園社労士事務所所長御園富士夫氏から下記のプログラムで実務講座が行われました。

1. 会社で行う事務
2. 健康保険・厚生年金保険の定例事務
3. 健康保険・厚生年金保険の給付内容と受給手続
4. その他知ってトクするポイント
5. 質疑応答

実際の届出用紙を使った採用、退職時の届出の書き方、算定基礎等の手続演習も行われ、実務に副った有意義な講習になりました。



実習課題にアドバイスする御園講師

## 三重県南勢地区労使懇談会開催

6月29日(月)松阪商工会議所2F中会議室において、連合三重との三重県南勢地区労使懇談会を開催いたしました。

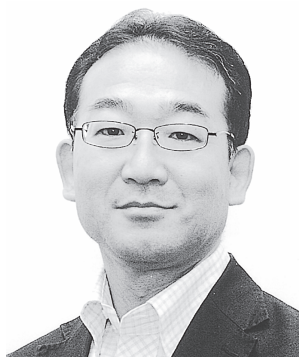
労使の代表挨拶に続き、ハローワーク松阪所長岡田吉生氏より松阪地域の雇用情勢などを伺いました。その後、労使による情報提供・意見交換がおこなわれ、有意義な懇談会になりました。当日は当協会から12名、連合三重より10名の参加がありました。



松阪地域雇用情勢を説明する岡田所長



## 『三重に来て感じたこと』



上野キャノンマテリアル株式会社  
総務部副部長

川 嶋 範 雄氏

困ってしまっています。『リレー随想』の執筆を引き受けたものの、いざ書こうとしたら、『さて、何を書くか…』と固まってしまっています。

そういえばこのようにして文章を書くのは久しぶりです。中学生以来でしょうか。でもあの頃は『課題(タイトル)』がありましたので『何を書くか…』と悩むことはありませんでしたが。(もっともあの当時は『作文』でしたね。)

さて、そんな訳でいろいろ悩んだのですが、三重に来てちょうど2年が過ぎましたので三重に来て感じたことを少し書いてみようかと思えます。

こちらに来て一番嬉しく感じたことは『何を食べても美味しい』ということです。お米をはじめ、野菜や肉など何を食べても非常に美味しい。以前に住んでいた東京でも美味しいものは食べられますが、全てにおいて高価でした。こちらではどこでも安価で美味しいものが手に入ります。これに勝る幸せは今のところ見つかりません。

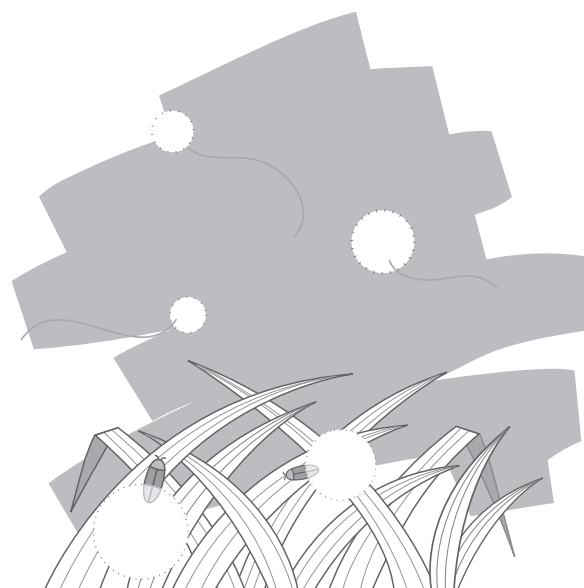
また、輸入食材の安全性が話題になっていた頃、社内食堂の食材をどのぐらい地元産でまかなえるかと調べたことがありました。結果、隣接府県まで産地を広げると米・野菜・肉に関してはほぼ100%が地元産でいけることがわかり早速そのようにしました。地元産なら流通にかかる時間も短く、新鮮であり、輸入食材に比べると格段に安心感があります。これもまたこちらに来て感じた嬉しいことです。

感動したこととしては『ホタル』があります。6月のある夕方、課員に連れられて近くの小川に行ってみました。日が沈み、徐々にうす暗くなってくると一匹、また一匹とホタルが舞い始め、8時を過ぎ

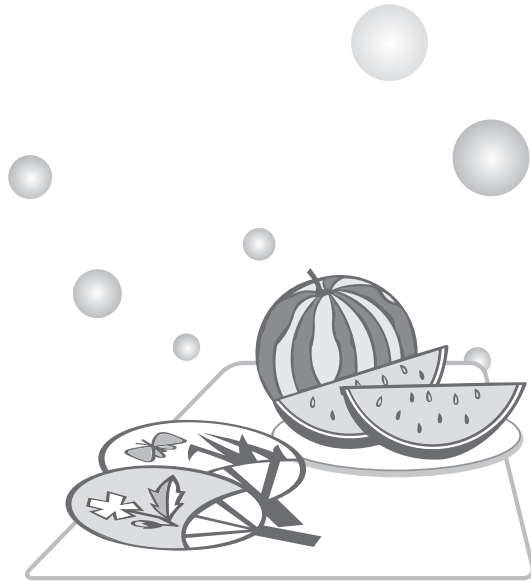
た時には数百匹のホタルがそれこそ『乱舞』というような状態になりました。ホタルというのは『あちらに一匹、こちらにも一匹』という程度のものしか見たことがありませんでしたので、大変な感動を覚えました。後で聞けば、その小川もホタルが生息できるように地域の方々が様々な努力をされているとのこと。頭が下がりました。

良い点を二つ上げましたが、不快なことも感じました。特に交通マナーの悪さにはしばしば閉口しました。法定速度で走っていると頻繁に追い越されます。もちろん、追い越し禁止区域です。黄色信号で止まると後ろの車に追い越されます。右折車線を使って追い越しをかける車も良く見ます。自分がルールを守るだけでなく、常に防衛運転を心掛けなくてはいけないと実感しています。このことを何気なく社内で話してみると同じ思いをしている人がずいぶんいました。マナーが悪い人は一部のようなのですが、それでもやはり残念です。

最後に不快なことを書いてしまいましたが、こちらに来て感じることは総じて嬉しいことばかりです。仕事に詰まると次はどんな嬉しいことがあるのかと、勝手に想像をめぐらせて気分転換を図っています。また明日も「ああ、いいなあ」と感じられることに出会えることを期待して頑張ります。






# 暑中お見舞い 申し上げます



## 三重県経営者協会

会 長 奥 田 卓 廣  
 副 会 長 菊 川 靖 之  
 副 会 長 小 林 長 久  
 副 会 長 高 崎 征 輝  
 副 会 長 黒 川 正 機  
 副 会 長 成 毛 康 雄  
 副 会 長 澤 田 隆  
 専 務 理 事 横 田 正 典

(50音順)

<p>フィッシング遊・アサヒ  </p> <p><b>アサヒレジャー株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 上 野 精 一</p>	<p>人を取り巻く全ての予防衛生を支援します</p> <p>株式会社 <b>イムテス</b></p> <p>代表取締役社長 小 林 眞一郎</p>
<p>ISO27001認証取得工場 印刷のプロフェッショナル</p> <p>株式会社 <b>伊勢出版</b></p> <p>代表取締役 玉 井 信 吾</p>	<p><b>Canon</b></p> <p><b>上野キヤノンマテリアル株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 浅 岡 信 行</p>
<p>ISO27001情報管理国際認証取得</p> <p> <b>総合印刷・出版</b> <b>伊藤印刷株式会社</b></p> <p>代表取締役 伊 藤 孝 行</p>	<p>CS(顧客満足)の向上と人材育成</p> <p>有限会社 <b>エム・アル・シー</b></p> <p>代表取締役 足 坂 三 長 取 締 役 井ノ口 美津子</p>
<p><b>今村会計事務所</b></p> <p>所長・税理士 今 村 元 宣</p>	<p>有限会社 <b>オーピーエス</b> <b>岡島パソコンスクール</b></p> <p>代表取締役 岡 島 久美子</p>



 <p>ありがとう 創立60周年</p> <p>株式会社 <b>おやつカンパニー</b> 代表取締役社長 松田好旦</p>	<p>超硬及びハイス工具研削専用機（設計・製作） —当社は専用工作機械及び金型部品のメーカーです—</p> <p>株式会社 <b>小林機械製作所</b></p>
<p>株式会社 <b>菊川鉄工所</b></p> <p>代表取締役会長 菊川靖之</p>	<p><b>三交興業株式会社</b> 名阪関ドライブイン 名阪上野ドライブイン</p> <p>取締役社長 横山 等</p>
 <p>ふれあい・たいせつに <b>きゅう-とら</b></p> <p>代表取締役 清水秀隆</p>	<p>株式会社 <b>三交タクシー</b></p> <p>代表取締役社長 宮田 準</p>
<p><b>株式会社近鉄百貨店</b></p> <p>取締役 中田基之 四日市店長</p>	 <p>株式会社三交ドライビングスクール <b>四日市自動車学校</b> <b>名四自動車学校</b></p> <p>取締役社長 北川幸彦</p>
 <p><b>農業屋</b> <b>クラギ株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 竹内秀樹</p>	<p><b>三交不動産株式会社</b></p> <p>取締役社長 中山良徳</p>
<p>昼も夜も、まごころガード24時</p> <p>株式会社 <b>ケ-ジ-エス</b></p> <p>代表取締役 小山良夫 電話 0594-21-3641</p>	<p><b>三交旅行株式会社</b></p> <p>取締役社長 森口明好</p>
<p>学校法人 <b>皇學館</b></p> <p>理事長 佐古一洵</p>	<p><b>新生サポート株式会社</b></p> <p>代表取締役 清本健一郎</p>
<p><b>御在所</b> GOZAISHO ROPEWAY <b>ロープウェイ</b></p>  <p>Let's <b>50ZAISHO</b></p> <p>取締役社長 池田信政</p>	 <p>響いてこそ技術 <b>シンフォニアテクノロジー</b></p> <p>伊勢製作所 取締役所長 古谷浩三 (神鋼電機は平成21年4月1日より社名変更致しました)</p>

 <p>SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE <b>鈴鹿医療科学大学</b></p> <p>理事長 高木 純一 学長 作野 史朗</p>	<p>湯めぐり海百景 <b>鳥羽シーサイドホテル</b></p> <p>代表取締役社長 藤井 俊彰</p>
<p>学校法人 享栄学園 <b>鈴鹿国際大学</b></p> <p>学長 堀 敬史</p>	<p><b>中辻医科器械株式会社</b></p> <p>代表取締役 三宅 克治</p>
<p><b>株式会社 ZTV</b></p> <p>取締役社長 田村 憲司</p>	<p><b>日本トランスシティ株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 小林 長久</p>
<p>セキュリティーコスト削減 お任せください <b>(株)セフティージャパン</b></p> <p>代表取締役社長 加藤 智</p>	 <p><b>松阪カントリークラブ</b></p> <p>取締役社長 奥田 卓廣 専務取締役支配人 藤本 輝秋 TEL0598-29-2911</p>
<p><b>TOSHIBA</b> Leading Innovation &gt;&gt;&gt; 株式会社 <b>東芝</b> セミコンダクター社 四日市工場 工場長 成毛 康雄 TEL 059-330-1001</p>	<p><b>三重いすゞ自動車株式会社</b></p> <p>取締役社長 種戸 茂一</p>
<p><b>東邦液化ガス株式会社三重支店</b></p> <p>取締役三重支店長 黒川 正機</p>	<p><b>三重県観光開発株式会社</b></p> <p>取締役社長 小林 哲也 専務取締役 岡橋 宣孝</p>
<p><b>TOENEC</b> 中部電力グループ 株式会社 <b>トーエネック</b> 三重支店 執行役員支店長 大脇 久生</p>	<p>株式会社 <b>三重カンツリークラブ</b></p> <p>取締役社長 山家 均</p>
<p>有限会社 <b>トーカイマネジメント</b> <b>アソシエイツ</b></p> <p>代表取締役 吉井 清二</p>	<p><b>三重グリコ株式会社</b></p> <p>代表取締役 熊谷 博</p>



<p>事業資金が必要な時、強かにバックアップ!</p> <p><b>三重県信用保証協会</b></p> <p>お客様のニーズに応じた制度をご用意しています。 ホームページアドレス <a href="http://www.cgc-mie.or.jp">http://www.cgc-mie.or.jp</a></p>	<p>セキュリティのトップメーカー 美和ロックは「安全」と「安心」を創造しお届けしています。</p> <p> <b>MIWA</b></p> <p><b>美和ロック株式会社</b></p>
<p><b>三重交通株式会社</b></p> <p>取締役会長 奥田卓廣</p>	<p> <b>株式会社 安永</b></p> <p><i>Yasunaga</i> 代表取締役社長 高崎 征輝</p>
<p><b>三重交通商事株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 宮本隆生</p>	<p>消防防災で安全安心を創る</p> <p>株式会社 <b>山口商会</b></p> <p>代表取締役社長 山口久彦</p>
<p>地域に根ざし世界に誇れる</p> <p>国立大学法人 <b>三重大学</b></p> <p>学長 内田淳正</p>	<p><b>三重県経営者協会</b></p> <p>職員一同</p>



## 雇用調整助成金制度の見直しについて

### 1 助成金の支給対象が広がりました!

#### ●対象労働者の拡大

雇用保険被保険者期間6か月以上の労働者を対象としていましたが、期間を問わず被保険者全員が対象となり、新規学卒者等も利用できるようになりました。

#### ●生産量要件の見直し

従来、原則として「生産量」により事業活動の縮小を確認していましたが、今後は「売上高又は生産量」により確認できるようになりました。

#### ●特例短時間休業を支給対象に追加

1時間単位で休業する場合は、事業所の被保険者全員がいっせいに休業する必要がありましたが、労働者ごとに1時間単位で休業することが可能となりました。

#### ●助成対象となる教育訓練の基準の見直し

当該企業における仕事に関連する知識、技能若しくは技術の習得又は向上を目的とするものや、当該企業にとって今後の生産向上につながると認められるものであれば、幅広く認められるようになりました。

### 2 助成金額がUPしました!

#### ●教育訓練費がUP

- ・大企業 1,200円→4,000円 **NEW**
- ・中小企業 1,200円→6,000円

#### ●支給限度日数がUP

- ・1年間 200日→撤廃 **NEW**
- ・3年間 150日→300日

**NEW** については、政府の経済危機対策を受けて今後実施予定。

助成金の支給までの資金繰りについては、中小企業庁・金融庁から政府系を含む金融機関に対して協力を要請しています。※1  
個別のご相談については、助成金の申請を行っていることが確認できる書類をご持参の上、全国900箇所を設置されている「緊急相談窓口※2」にご相談ください。  
※1日本政策金融公庫では、雇用調整助成金(中小企業緊急雇用安定助成金等)の届出を行った企業に向けた低利融資(地域活性化・雇用促進基金)を5月11日より実施しています。  
※2中小企業庁のホームページを参照:<http://www.chusho.meti.go.jp>

### 3 支給申請がしやすくなりました!

●支給対象となる休業等から、時間外労働等を行った時間を相殺して支給額を決定していましたが、この取扱いを廃止しました。

●申請様式については、一部の支給申請書等を除いて、所定の事項が記載されていれば、事業所が作成した任意の様式により申請することが可能になりました。

## 雇用保険の適用範囲を拡大します!

平成21年4月1日から、短時間就労者、派遣労働者の方の雇用保険の適用基準が以下のように変わります。

現在雇用している労働者の方が適用基準に該当する場合

**【新】**

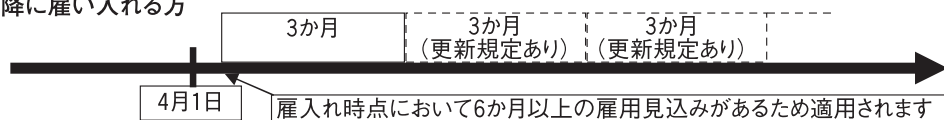
**6か月**以上の雇用見込みがあること  
1週間当たりの所定労働時間が20時間以上であること

**【旧】**

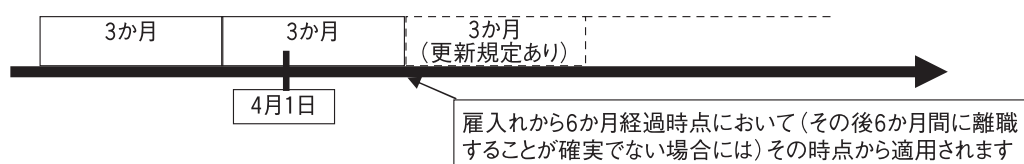
**1年**以上の雇用見込みがあること  
1週間当たりの所定労働時間が20時間以上であること

例えば、次のような方が対象となります。

・4月1日以降に雇い入れる方



・4月1日以前から雇われていた方



★詳細につきましては、最寄りの労働局又はハローワークへお問い合わせください★

厚生労働省 都道府県労働局 公共職業安定所(ハローワーク)



## 派遣先で派遣労働者を雇い入れた場合に奨励金を支給します

### 派遣労働者雇用安定化特別奨励金を創設

#### 支給対象事業主

いわゆる「2009年問題」への対応を検討されている事業主の方等で、次のいずれにも該当する場合は、奨励金の支給対象となります。

- ① 6か月を超える期間継続して労働者派遣を受け入れていた業務に、派遣労働者を無期または6か月以上の有期（更新有の場合に限ります。）で直接雇い入れる場合。
- ② 労働者派遣の期間が終了する前に派遣労働者を直接雇い入れる場合。

- なお、製造業務に限らず、派遣労働者を受け入れている他の業務も対象となります。
- その他、奨励金の支給には一定の要件がありますので、詳しくは都道府県労働局・ハローワークにお問い合わせください。

#### 奨励金の支給額

		期間の定めのない労働契約の場合		6か月以上の期間の定めのある労働契約の場合		
大企業	計50万円	6か月経過後	25万円	計25万円	6か月経過後	15万円
		1年6か月経過後	12万5千円		1年6か月経過後	5万円
		2年6か月経過後	12万5千円		2年6か月経過後	5万円
中小企業	計100万円	6か月経過後	50万円	計50万円	6か月経過後	30万円
		1年6か月経過後	25万円		1年6か月経過後	10万円
		2年6か月経過後	25万円		2年6か月経過後	10万円

#### 事業実施期間

平成21年2月6日から平成24年3月31日まで

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク

## 平成21年度 インターンシップの受入事業所を募集しています

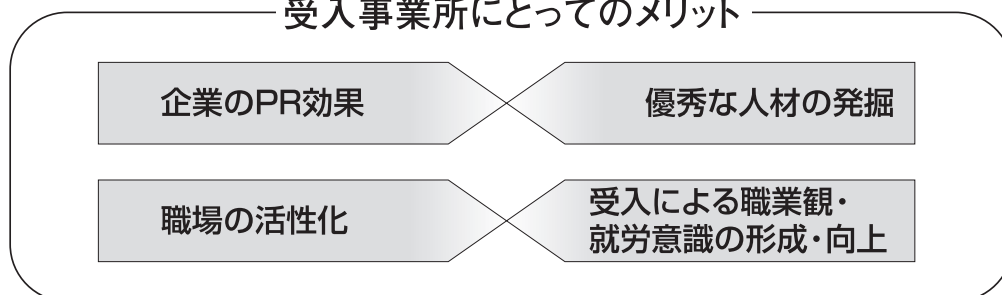
インターンシップは、学生が在学中に企業などで一定期間就業体験を行う教育制度です。地域の産業界の皆様のご協力があってはじめて実現できる制度ですので、積極的な参加をお願いいたします。

インターンシップ受入登録事業所を募集しております。未登録の会員事業所、またご紹介いただける事業所の方は、事務局 西場（にしば）までご連絡をお願いいたします。

三重県下で約750事業所が現在登録されています。

- \* 参加する学生は、事前研修を受け、インターンシップ保険等に加入した上で実習に参加します。（事業所側のご負担はありません）

#### 受入事業所にとってのメリット



# 一般事業主行動計画策定等支援事業

次世代育成支援対策推進法の一部改正により、一般事業主行動計画の策定・届出企業が拡大されます。

	平成23年3月31日まで	平成23年4月1日以降
301人以上企業	義務	義務
101人以上300人以下企業	努力義務	
100人以下の企業		努力義務

- 上記の改正にともなう支援事業の一環として、一般事業主行動計画策定についてのセミナーを右記の各地域で開催予定しております。

●開催日程

8月	津
9月	四日市・伊勢
10月	桑名
11月	伊賀・津

●セミナー内容

- ・一般事業主行動計画とは？
  - ・行動計画策定のメリットとは？
  - ・上手な計画策定のポイントは？
  - ・企業のタイプ別行動計画の事例
- ※詳細が決まり次第ご案内いたします。

お問い合わせ：三重県経営者協会 一般事業主行動計画策定等支援事業  
 コンサルタント：小林篤郎・沢 勝弘／担当：中村 宏  
 ホームページ <http://miekeikyo.jp/ippan.html>  
 電話 059-223-0222 FAX 059-223-0224  
 〒514-0033 三重県津市丸之内9番18号 津丸の内ビル3階

# 「70歳まで働ける企業」創出事業

## ◆アンケート調査のお礼と巡回訪問について

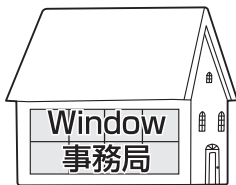
当協会会員を対象に6/12～7/10の間で実施いたしましたアンケート調査（平成21年度高齢者の雇用確保措置に関する実態調査）につきましては、ご協力ありがとうございました。このアンケート調査の結果を基に、8月下旬から「70歳まで働ける雇用機会の確保」に向けた啓発活動として、会員の皆様へ巡回訪問させていただきますので、ご理解、ご協力よろしくをお願いいたします。

## ◆高齢・障がい者雇用フェスタ2009 in みえ

- 日時 10月8日(木) 13:30～  
 会場 三重県総合文化センターフレンテみえ 多目的ホール  
 内容 1. 事業所表彰 高齢者、障がい者の雇用に積極的な会社を表彰  
 2. 基調講演 「人は誰でも主役になれる」  
 (株)いんどり 代表取締役社長 横石 知二氏  
 3. 展示・即売 障がい者授産施設等の作品の展示・即売

お問合せ：三重県経営者協会「70歳まで働ける企業」創出事業  
 担当：梶 村(すぎむら)・池 村  
 電話：059-223-0222 FAX：059-223-0224  
 〒514-0033 三重県津市丸之内9番18号 津丸の内ビル3階





## 新会員の紹介

### ●泉鑄造株式会社

所在地 四日市市黄金町8番地  
 代表者 常務取締役 内堀 彰  
 電話 059-364-1575  
 F A X 059-364-0487  
 事業内容 工作機械用大形鋳物製造



### ●有限会社稲一商店

所在地 津市芸濃町椋本字西富家2662-3番地  
 代表者 代表取締役社長 稲垣 充  
 電話 059-266-1616  
 F A X 059-266-1617  
 事業内容 一般貨物自動車運送事業・  
 一般貨物取扱事業

ホームページ <http://www.inaichi.co.jp>



## れんらく・つうしん

### 労務管理改善協力委員会8月第1部会

- ◆日程 平成21年8月下旬
- ◆開催場所 津市内
- ◆内容 ①連合三重  
「労働組合の活動状況について」  
②三重県労働委員会  
「最近の労働問題について」  
③津地方裁判所  
「個別労働紛争について」  
④その他

### 団塊世代をはじめとする高齢者再就職のための再就職支援セミナー・新分野チャレンジ交流会・起業支援セミナー

- ◆日程 平成21年8月27日(木) 13:00~16:30
- ◆開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ◆内容 第1部 再就職支援セミナー  
講演：「中高年齢者の再就職のために」  
第2部 新分野チャレンジ交流会  
講演並びに高齢者等採用企業との交流会  
第3部 起業支援セミナー  
講演並びに起業を目指す体験談

### 第42回三重労使会議

- ◆日程 平成21年9月16日(水) 13:00~
- ◆開催場所 三重総合文化会館フレんテみえ  
3F 特別会議室
- ◆内容 労使懇談会

業務日誌 2009.4.6

事業名	とき	ところ	
労働保険(労災・雇用保険)実務講座	4/20(月)	プラザ洞津	経
労務管理改善協力委員会4月第1部会	4/24(金)	井村屋製菓(株)	
第3回三重県経済危機対策会議	4/24(金)	プラザ洞津	
三県専務理事会	5/13(水)	愛知県経営者協会	協
日本経団連「理事会」「地方経協専務理事会」	5/19(火)	経団連会館	
平成21年度定時会員総会	5/21(木)	津商工会議所	関
雇用の安定と創出に向けた労使共同宣言 三重労使雇用支援機構設立	5/25(月)	プラザ洞津	
MVL監事会・運営委員会	5/29(金)	津リージョンプラザ	
第1回70歳まで働ける企業創出事業推進委員会	5/29(金)	プラザ洞津	係
インターンシップ事前研修会	6/6(土)	津センターパレスホール	
第1回好事例集作成検討委員会	6/19(金)	プラザ洞津	
社会保険(健康保険・厚生年金保険)実務講座	6/23(火)	プラザ洞津	
三重県南勢地区労使懇談会	6/29(月)	松阪商工会議所	



三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F

TEL 059-228-3557

ホームページ

E-mail

FAX 059-228-3710

<http://miekeikyo.jp>

[info@miekeikyo.jp](mailto:info@miekeikyo.jp)

平成21年7月22日 発行  
 発行人/三重県経営者協会

## 出向・移籍支援事業

# 「失業なき労働移動」をめざして

人材  
送出  
企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業
- 65歳までの継続雇用が自社内では困難で、該当者の再就職を支援したい企業

産業雇用  
安定センター  
三重事務所

送出情報の  
収集・登録

受入情報の  
提供

受入情報の  
収集・登録

送出情報の  
提供

企業ごとの話し合い・面接

出向・移籍の成立

人材  
受入  
企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は  
前もってご連絡ください。

(財)産業雇用安定センター  
TEL 059-225-5449

## 厚生労働省委託事業

中高年齢者の再就職・起業支援事業

# 地域団塊世代雇用支援事業

経験

意欲

生きがい

団塊世代の再就職を支援します!!

### これからの働き方について考える!!

働く意欲を持った団塊世代と  
シニアマンパワーを求める企業  
のマッチングを雇用支援アドバ  
イザーがお手伝い致します。

お問い合わせ先

三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1

TEL 059-228-3557・3679 FAX 059-228-3710・3575 (担当:西山・中村和)